

平成14～16年度 教育研究業績書

|  |  |           |                        |   |      |
|--|--|-----------|------------------------|---|------|
| 奈良大学在職期間   | 1988年                                      | ～         | 現在                     | 氏名  | 田中 良 |
| 最終学歴   | 1979年3月関西大学大学院後期課程文学研究科仏蘭西文学専攻単位取得後満期退学    |           |                        |   |      |
| 取得学位   | 文学修士                                       |           |                        |   |      |
| 所属学会   | 日本フランス語フランス文学会、日本フランス語フランス文学会関西支部、関西大学仏文学会 |           |                        |   |      |
| 専門分野   | フランス近代小説（特にマルセル・ブルースト）                     |           |                        |   |      |
| 研究課題   | ブルーストの『失われた時を求めて』を中心とした小説に内在するテーマの研究       |           |                        |   |      |
| 【研究上の特記事項】   |  |           |                        |   |      |
| <p>全国ブルースト研究会は年1回、関西ブルースト研究会は年3回開かれているが、毎回出席し、他の研究者と意見交換を行っている。関西ブルースト研究会では、毎回研究会の報告書を出している。</p> |  |           |                        |   |      |
| 【教育上の特記事項】   |  |           |                        |   |      |
| <p>2006年度より本学通信教育において、年2,3回「国際関係論」のスクーリングを行っている。</p>   |  |           |                        |   |      |
| 【社会的活動】（主要なもの）   |  |           |                        |   |      |
| 【学内活動】（学内職歴を含む・主要なもの）  |  |           |                        |   |      |
| 著書、学術論文等の名称  | 単著、共著の別                                    | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称    | 概 要   |      |
| (学術論文)<br>ブルースト的触覚   | 単  | 2004年2月   | 「仏語 仏文学」第31号（関西大学仏文学会） | ブルーストは『失われた時を求めて』において、五感<br>は物語の構造とも深くかかわっている。その五感のうち、研究者があまり言及していない触覚について考察した。 |      |